



## 7月1日～15日の活動報告

### ●「国土強靱化税制」の整備・創設に関する要望

日時：7月1日(木)

北陸・中部等8経済連合会は、「国土強靱化税制」等の整備・創設に向けての要望書を公表した。大規模災害による産業界の被災リスク低減に向け、企業の防災投資を促す取り組みを要望。重点項目として、旧耐震基準の建物、情報機器等の耐震化についての税制優遇等を求めた。

この日、自民党本部で開催された懇話会で、二階幹事長をはじめとする出席議員に対して、中部経済連合会水野会長から要望書の内容を説明した。北陸経済連合会からは山下専務理事が出席し、「北陸はモノづくりが盛んな地域。災害時に、製造業が事業を継続しサプライチェーンを守ることは、日本の国益を守ること。企業の防災・減災投資を促す仕組みは是非必要」と要望した。

懇話会終了後、加藤官房長官、財務省に対しても要望活動を実施した。



(担当：高畠)

### ●2021年度第1回国際委員会

日時：7月2日(金) 13:00～14:00

出席者：20名(オンライン開催)

江守委員長より、4月1日付け当会委員会再編後のあらたな国際委員会(委員：27名)としての初の会合であること、ワクチン接種が進む米国や中国ではいち早く経済が回復軌道に乗り始めたこと、更には第五次中期アクションプランの目標である、一人当たりGRP700万円を達成するには海外、特に中国・アジアの需要を取り組むことが必須である旨を述べ、国際部会においては「国際交流」、「市場開拓」並びに「高度外国人材受け入れ」での事業推進に期待されている旨を強調した。

各委員からはコンテナ船の不足による事業への影響と今後の方向性、最大市場となっている中国市場での事業展開における情報提供、海外市場の情報としてパキスタン、バングラデシュを要望したい等、活発な意見・情報交換が行われた。

本委員会での意見・要望等を踏まえ、今年度の事業計画に取り組んでいくこととした。

(担当：小島)

### ●2021年度第1回観光委員会

日時：7月6日(火) 10:00～11:00

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

出席者：23名(会場18名、オンライン5名)

米沢新委員長から、新たな観光委員会(委員32名)の開催にあたり挨拶があった。観光について、北陸の特性を活かした質と量の最適化が重要であるとし、オーバーツーリズムにならないようターゲットは欧米の富裕層に定め、北陸が一体となりプロモーションしていく組織が必要であるとの考えを述べた。また、広域観光推進委員会から新しく観光委員会となったことについて、広域観光にプラスしてインバンドと観光業の魅力アップ等、少し広めた施策を考えていくことが重要とし、皆様のご協力を頂き、実りある委員会にしていきたいと述べた。

各委員からは、いかに「北陸が一つ」になり訴えていくことが大事である、インバンドに限定するのもひとつ、ブランディングについては絞るのは難しいが一花繚乱でやらないと弱くなる、北陸新幹線延伸に向け全国の注目を浴びるタイミングにあり積極的に国内外にPRしていくチャンスである等、活発な情報交換がなされた。

今後は、「北陸は一つ」というキーワードに観光委員会がまとまり、取り組んでいくこととした。



(担当：高田)

## ●2021年度第1回人財活躍推進委員会

日時：7月6日(火) 13:30~14:30

場所：金沢ニューグランドホテル(オンライン併催)

出席者：16名(会場9名、オンライン7名)

人財活躍推進委員会が新設されて1回目の委員会開催となった。八木委員長は、女性やシニアといった多様な人財から選ばれる企業づくり、北陸企業の「ダイバーシティ&インクルージョン」ブランド化という当委員会の担う役割の重要性を述べた。

委員からは、「女性活躍推進のためには、女性だけでなく男女が協働していく必要がある」「幅広い年齢層や男女が多様な意見を交わして結論を出すことが大事」「今の65歳は元気であり、定年退職には早すぎる。本人の希望に応じて、長く働ける環境整備が必要」等、多くの発言があった。



(担当：日野)

## ●2021年度第1回新たな価値創出委員会

日時：7月7日(水) 13:30~14:40

出席者：27名(オンライン開催)

北村新委員長から、新たな価値創出委員会(委員：36名)の開催にあたり挨拶があった。

第五次中期アクションプランの三本柱の1つである「企業の労働生産性の向上と成長」に関し、当委員会の取り組みに期待するところが大きいと考えている。委員長自身、欧米に出張する機会も多かったことから、日本の労働生産性が低いと肌で感じており、前身の「先端技術推進委員会」の澁谷委員長の意思を引継ぎ、大学および様々な業種の企業の委員の方と共に、委員会の名称でもある「新たな価値創出」に向け、デジタル化、人材育成、オープンイノベーション、新事業創出等に取り組んでいきたいと述べられた。



各委員からは、中小企業のDX化に向けた事例紹介講演の要望、産学共同でDXに取り組む方が効率的、大学における企業のデジタル化サポートの取組等について意見・情報交換があった。

委員会での意見・要望等を踏まえ、今後の事業活動に取り組んでいくこととした。

(担当：坂井)

## ●2021年度第1回社会基盤委員会

日時：7月9日(金) 13:00~14:00

出席者：23名(オンライン開催)

光野委員長は、「本日は、“社会基盤委員会”に名称変更となり、新しいメンバーを加えての初めての委員会である。引き続き、北陸新幹線 大阪までの全線開業とくに関西・京都府の機運醸成、高規格幹線道路の全線4車線化、港湾整備、航空の需要回復と地方路線網維持に取り組んでいきたい」と抱負を述べた。

委員からは「北陸全体で連携した取り組みが、北陸新幹線の大阪延伸につながっていく。北陸の魅力を磨き上げ、発信に取り組んでいきたい」「北陸新幹線敦賀開業をチャンスとして、空とレールのタッグを組んで、北陸を盛り上げていきたい」等の発言があった。



(担当：高畠)

## ●令和3年度北陸新幹線早期全線開業実現大阪大会

日時：7月12日(月) 14:00~15:00

場所：ホテルニューオータニ大阪

(オンライン併用開催)

関西経済連合会をはじめとする関西経済界、大阪府、大阪府で構成される「北陸新幹線早期全線開業実現大阪協議会」が同大会を開催。北経連からは、金井会長、久和名誉会長がオンラインにて出席した。大会では、大阪府の吉村知事は金沢開業で北陸の目は首都圏に向けたとし、「このままでは関西との結びつきが薄れかねない」等発言。大阪商工会議所の尾崎会頭は「金沢・敦賀間の開業は24年春に後ろ倒し



となったが、敦賀・新大阪間は何としても23年春に着工させたい」等発言。閉会の挨拶として関西経済連合会の松本会長からは「1日も早い開業実現に向け北陸と連携し一致団結したい」等と発言があった。

大会では、以下4つが決議された。

1. 敦賀・新大阪間について、環境アセスメント手続きを遅滞なく着実に進めるとともに、安定的な財源の確保を含む着工5条件を早期に解決して、令和5年度当初に着工したうえで、新大阪まで一気に整備し、一日も早く全線開業すること
2. 施工に係る検討においては、客観性を確保したうえで、事業リスクも十分に考慮し、事業費抑制・工期短縮に努め、施工上の諸課題を解決するとともに、地域の理解が得られるよう、早い段階で詳細かつ丁寧な説明や情報提供を行うこと
3. 駅位置については、将来の鉄道計画を踏まえ、利用者利便性等を考慮するとともに、新大阪駅周辺地域のまちづくりの推進のためにも早期に確定すること
4. 財源の検討においては、沿線自治体に過度な地方負担が生じないよう地方負担の軽減に配慮すること  
(担当：神地)

## 今後の行事予定

- ◆【実施予定】第351回常任理事会  
日時：7月20日(火) 12:00～14:00  
場所：金沢ニューグランドホテル  
対象：会長・副会長・常任理事
- ◆【実施予定】第49回三県知事との懇談会  
日時：8月24日(火) 14:00～16:30  
場所：ホテル日航金沢(オンライン配信あり)  
対象：全会員
- ◆【実施予定】第8回北陸産学連携懇談会  
日時：9月28日(火) 午前  
場所：福井県立大学 永平寺キャンパス  
対象：会員大学学長、会長、副会長、委員長
- ◆【実施予定】福井県立大学見学会  
日時：9月28日(火) 午後  
場所：福井県立大学 永平寺キャンパス  
対象：北陸産学連携懇談会出席者、総合対策委員会・新たな価値創出委員会の委員

## お知らせ

- 北経連「北陸産学技術交流会」の情報交換テーマ募集のご案内

### 【URL】

<http://www.hokkeiren.gr.jp/news/data/0caladff7ac13e2e51b93177ab96cdeb.pdf>

新たな価値創出委員会では、オープンイノベーションの契機となることを目指し、会員企業・大学の実務者が参加する「北陸産学技術交流会」の情報交換テーマを下記のとおり募集致します。

【募集内容】交流会の主査となって開催頂ける方から、情報交換テーマを募集します。

【応募等】URLの情報交換テーマ提案書に記載の上、下記までメールで送付ください。

E-mail：[sakai@hokkeiren.gr.jp](mailto:sakai@hokkeiren.gr.jp)

・募集期間：8月20日(金)まで

・応募件数：先着4件

是非、会員企業の技術開発部門等の関係者、会員大学の産学連携部門および関係する研究者の方へもご周知頂きますようお願い申し上げます。

(担当：坂井)

### ■総務省統計局「社会人のためのデータサイエンス演習」受講者募集のお知らせ

統計オープンデータを活用した分析手法を学習できるオンライン講座が以下の通り開催されます。

誰でも無料で受講することができますので、人材育成部門等へもご案内頂き、ご活用ください。

【講座名】社会人のためのデータサイエンス演習

【形態】デマンド型オンライン講座

【主催】総務省統計局

【開講】2021年9月28日(火)～

【学習時間】10分程度×5～6回程度(1週間)×5週

【申込】受付中(受講無料)以下URLから事前登録

<https://gacco.org/stat-japan2/>

(担当：坂井)

### ■富山県「女性活躍推進フォーラム～フェムテックを活用した課題解決～」開催のお知らせ

女性活躍と企業の成長について考えるフォーラムです。今、注目のフェムテックについても紹介します。

### 【URL】

<https://www.pref.toyama.jp/101703/kurashi/kyousei/zyoseikatsuyaku/0701.html>

【日時】8月25日(水)14:00～17:00

【形態】リアル・オンライン同時開催

【主催】富山県

【申込】8月17日(火)まで下記 URL から申込  
<https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/oMqP2sdn>

(担当：日野)

## ■北陸観光コア人材育成スクール募集のお知らせ

北陸先端科学技術大学院大学が実施する本スクールは、「地域の観光イノベーション推進人材育成」をコンセプトに、アフターコロナの社会で観光事業を再建するリーダー、次世代の地域観光をリードするリーダーの育成を目指しています。

社会人のリカレント教育として、また人材育成にご活用下さい。

【申込期間】2021年7月1日～8月6日

【実施期間】2021年10月6日～2022年2月25日  
(15日間19講義)

【終了時の学位】履修証明書を発行

【受講料】80,000円

【問合せ先】北陸先端科学技術大学院大学  
北陸観光コア人材育成スクール事務局

E-mail：[info\\_ces@ml.jaist.ac.jp](mailto:info_ces@ml.jaist.ac.jp)

TEL：0761-51-1752, 1771

URL：<https://www.ces-jaist.com/>

(担当：高田)

## ■アジア・ビジネス創出プラットフォーム (ABCP) の HP 上への掲載企業募集

2019年4月に関西経済連合会はABCPを設立し、ASEAN7カ国の商工会議所と連携の上、各国の企業・団体間における人材・技術・サービス等の連携を促進し、ビジネス創出に取り組む事業を展開しております。

<https://www.abc-f.org/ja/report/?label=5&wovn=ja>

既に当会は「北陸のシェアトップ150」(日本語/英語)をはじめ、会員企業数社が掲載中ですが、引き続き、ABCPのHP上の「技術・商材情報」に掲載頂く会員企業を募集しております。

つきましては、掲載をご検討したい会員企業様は以下迄お問い合わせ願います。

小島：[kojima@hokkeiren.gr.jp](mailto:kojima@hokkeiren.gr.jp) 又は

登：[nobori@hokkeiren.gr.jp](mailto:nobori@hokkeiren.gr.jp)

(担当：小島、登)

## ■北経連事務局の新たなメンバー紹介

・北川裕之常務理事



6月25日付けで着任しました。1994～1996年に北経連に在籍した経験はありますが、当時とは事業内容も大きく変わっており、新たな気持ちで業務に取り組んでまいります。北陸電力(株)から出向

・小島正寛部長



5月1日付で着任しました。前職の総合商社では生活産業部門の海外戦略策定、ヘルスケア事業開発、アジアでの消費材の新規事業開発に従事しておりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

・渡辺史男副部長



7月1日付けで着任しました渡辺と申します。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。前田建設工業(株)から出向

・日野恵美課長



7月1日付けで着任しました。原籍は中日本高速道路(株)です。日々子どもを保育園に送迎しながら、自身の生産性向上という課題と向き合っています。